

外 務 大 臣

麻 生 太 郎 様

米軍横田基地の軍民共用化に反対する陳情書

平成19年8月7日

瑞 穂 町

瑞穂町議会

米軍横田基地の軍民共用化に反対する陳情書

横田基地は、昭和15年、当時の軍部により無理やり用地を買い取られ、陸軍多摩飛行場として設置されました。戦後、接收され米軍基地となり、30年代には数度の拡張がなされ、滑走路が瑞穂町の中心部をえぐるように伸びております。

このため瑞穂町民は、常に航空機の騒音に悩まされ、いつ起こるとも知れぬ航空機事故に不安な日々を送ってまいりました。また、建築物の高度制限など土地利用上の制約もあり、町の発展を大きく阻害されておりますが、国策による施設であるとして堪え忍んでまいりました。

平成11年4月23日、石原慎太郎氏が知事に就任し、米軍横田基地の軍民共用化が表明されたことに対し、瑞穂町議会では同年5月10日の臨時会において軍民共用絶対反対の決議を全会一致で採決し、関係機関に対し要請いたしました。それ以降、貴職に対して毎年町と議会で「軍民共用化に反対する陳情書」を提出しております。

横田基地共用化に関する国の関係省庁と東京都との「連絡会」が9回開催されていきますが、協議内容等の説明もないまま共用化へ向け既成事実を積み重ねていくような「連絡会」の開催に憤りを覚えるものであります。さらに、本年10月までに、軍民共同使用の具体的な条件や態様に関する検討を行う「スタディ・グループ」による検討が終了し、日米両政府はこの結果に基づいた適切な決定を行うとされていきますが、これ以上の騒音の増大をもたらす軍民共用化を推進するならば、基地そのものに対する反対運動が予想されます。

貴職におかれましては、飛行直下に位置し、航空機騒音被害をより多く受けている瑞穂町の実情をご賢察のうえ、特段のご配慮をいただきたく陳情いたします。

平成19年8月7日

東京都西多摩郡瑞穂町
瑞穂町長 石塚 幸右衛門

瑞穂町議会
議長 尾作 武夫

瑞穂町議会基地対策特別委員会
委員長 上野 勝